

食料・農業・農村政策審議会 家畜衛生部  
会 第56回牛豚等疾病小委員会 概要

○ 日時：令和2年4月30日（木）

○ 場所：持ち回り開催

○ 委員（50音順、敬称略）

臨時委員：佐藤 真澄、津田 知幸（委員長）、筒井 俊之、  
中島 一敏、山口 俊昭

専門委員：入江 正和、嶋田 誠司、芳賀 猛、山川 睦

○ 概要：

1 ワクチン接種推奨地域における豚へのワクチン接種状況等を確認し、適切に接種等が進められていることを確認した。また、新潟県及び京都府の野生いのししにおける感染確認事例を含めた野生いのししの感染状況を確認した。

加えて、野生動物対策については、

- ① 2月に開催した第4回 CSF 経口ワクチン検討会の報告を受け、ワクチン散布区域によっては、感染個体の割合が減少傾向にあること、免疫獲得個体は増加傾向にあること等を確認した。
- ② 捕獲の強化については、関係22都府県において捕獲重点エリアが設定され、捕獲が進んでいること等を報告した。

2 その結果、現在までの野生いのししにおける感染状況を踏まえワクチン接種推奨地域を見直し、大阪府、和歌山県及び兵庫県をワクチン接種推奨地域に設定すべきとされた。

- 3 その際、引き続き、地域の野生いのししの生息密度を踏まえ、野生いのししの捕獲の強化、経口ワクチンベルトの適切な構築等により、CSF ウイルス感染機会を減少させて感染拡大を抑制していくべきとされた。
- 4 また、今後の飼養豚へのワクチン接種状況及び野生いのししの感染状況を踏まえ、ワクチン接種推奨地域の見直しの必要性について、定期的に検討していくこととされた。
- 5 なお、福島県については、新潟県で陽性が確認された山塊と同県の山塊は異なること、山形県については、感染確認場所と大きく離れること等の環境要因からワクチン接種推奨地域に設定しないことを確認した。

(以上)